

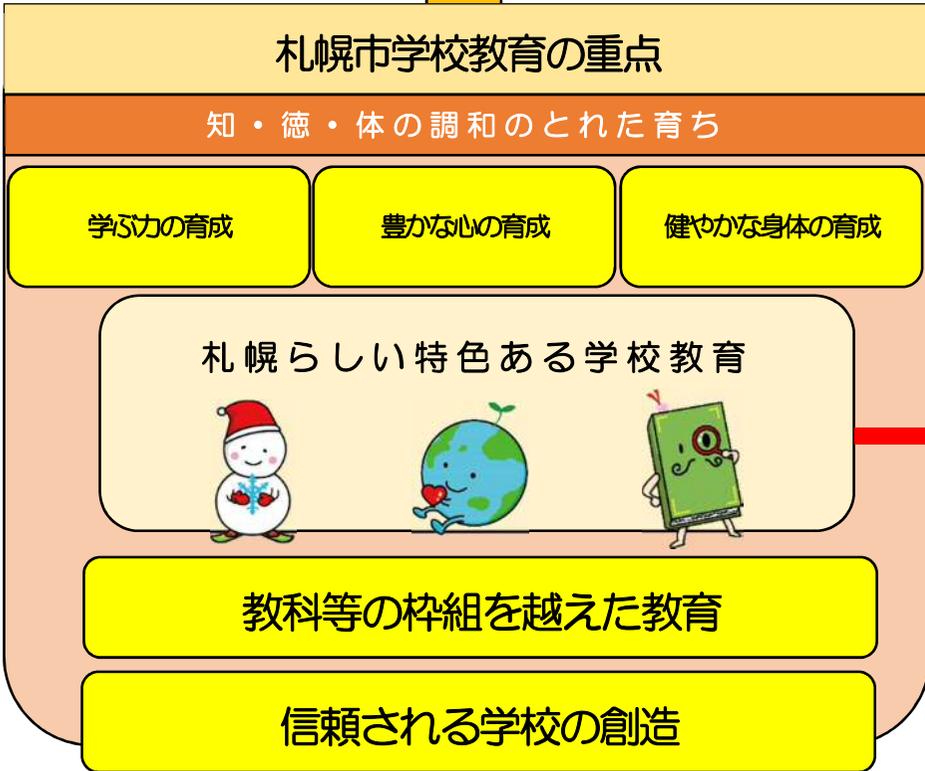


1 全体構造

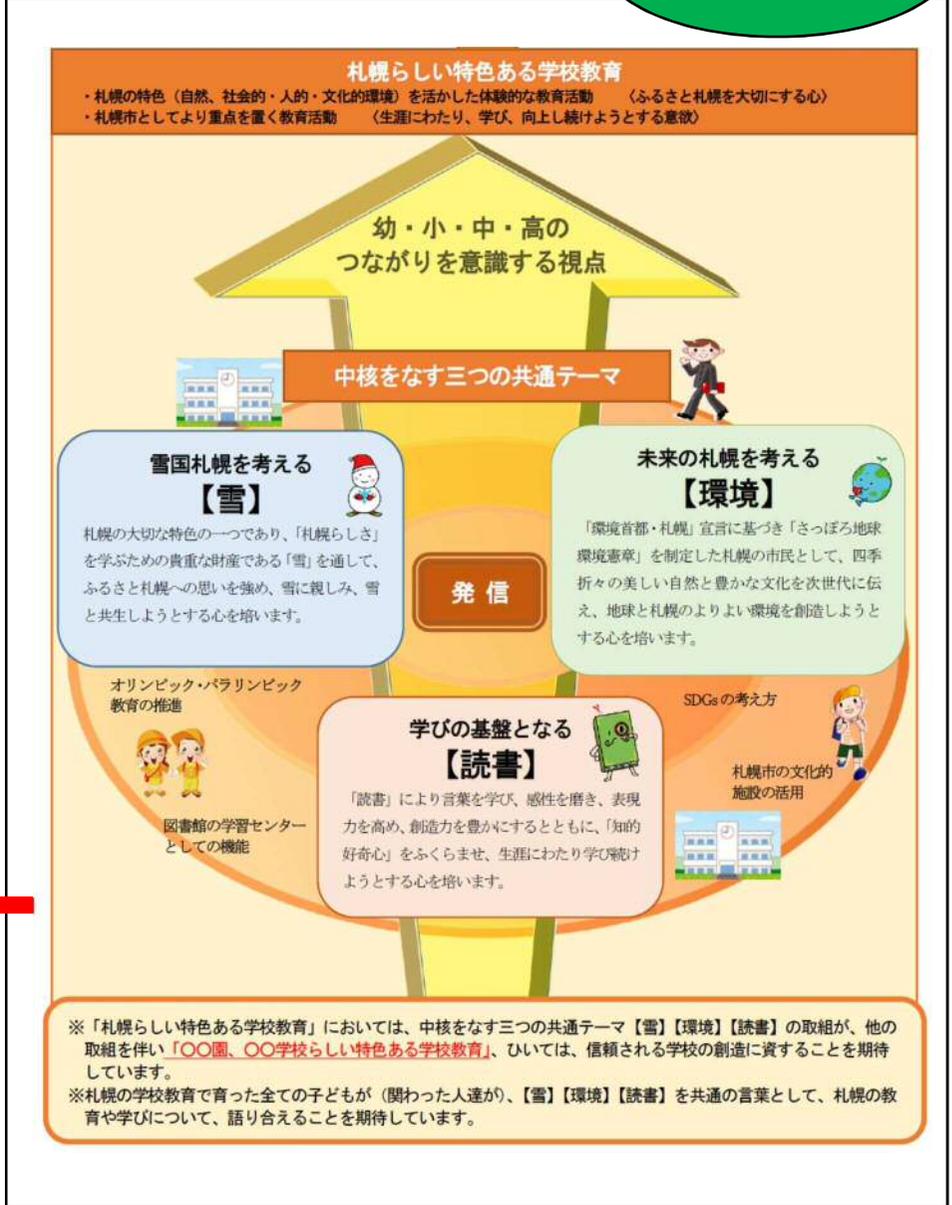
### 札幌市教育振興基本計画

札幌市の教育が目指す人間像  
**「自立した札幌人」**

- 未来に向かって 創造的に考え、主体的に行動する人
- 心豊かで 自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人
- ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人



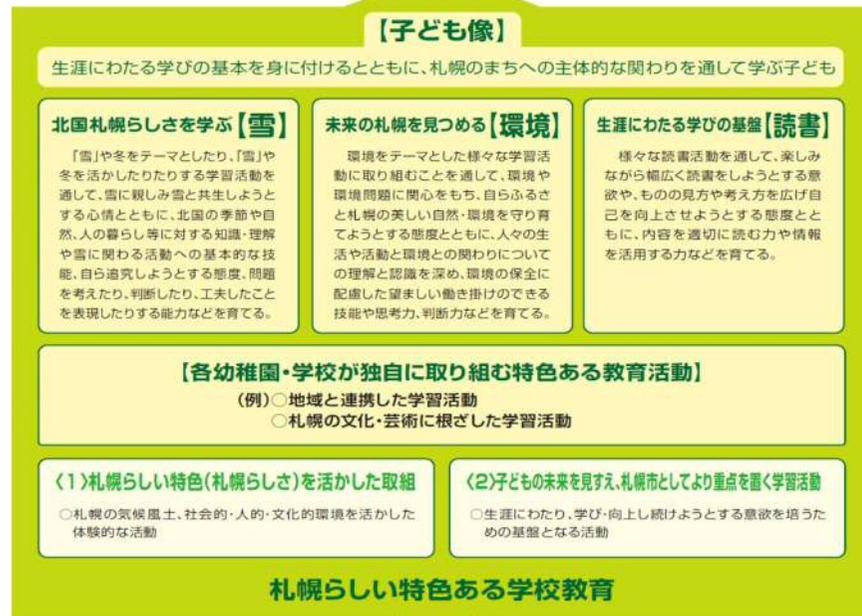
2 札幌らしい特色ある学校教育



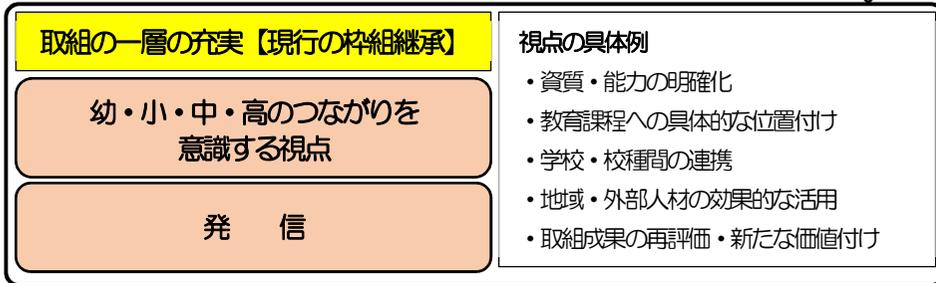
札幌らしい特色ある学校教育の枠組み

1 変更点

(1) 2018年度までの枠組み



10年間の取組成果と課題  
札幌市の情勢の変化  
社会情勢の変化



2 各テーマにおけるこれまでの主な取組事例

テーマ	取組事例
【雪】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー学習</li> <li>・異学年交流を生かしたスノーフェスティバル</li> <li>・地域の除雪ボランティア活動 ※小中の児童会・生徒会と連携した取組</li> <li>・「雪」と生活に関する調べ学習や発表会 など</li> </ul>
【環境】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間など教科等の学習での調べ学習や発表会</li> <li>・エコスクール宣言</li> <li>・ソーラーパネルを活用した学習</li> <li>・地域等の外部人材から学ぶ学習 など</li> </ul>
【読書】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読書</li> <li>・地域の人材等による読み聞かせや本の紹介などの取組</li> <li>・調べ学習など、学習活動としての学校図書館や図書館資料の活用</li> <li>・読書を通して感じたことや考えたこと、調べて分かったことなどの発表会 など</li> </ul>

3 取組全体の成果と課題

**成果**

- ・【雪】【環境】【読書】の三つの共通テーマに係る取組について、各校において工夫した取組が行われ、大きな成果を挙げている。
- ・活動ごとの資質・能力を明確にして取り組むことによる教育効果
- ・活動を教育課程に位置付け、組織的に取り組むことによる教育効果
- ・近隣の学校（異校種含）と連携した取組を進めることによる教育効果
- ・地域の方や大学教授等を講師として招いたり、インタビュー活動を行ったりするなど、地域や外部の人材を活用することによる教育効果

**課題**

- ・この10年間に各校が工夫した取組を行っており、例えば、現在の中学3年生であれば、幼児期を含めると【雪】【環境】【読書】に関する8年以上の学びが積み重なっていることから、異校種間で情報共有や連携した取組を一層進めることなど、【雪】【環境】【読書】に関する長期的な子どもの学び、育ちに目を向けることで、より効果的に教育活動を展開することができる。
- ・取組成果の整理や新たな価値付けをすることによって、より取組に広がりや深まりを期待することができる。

【雪】【環境】【読書】の位置付け及び育成する資質・能力の修正

目標は？

中核をなす三つの共通テーマ

北国札幌らしさを学ぶ【雪】

- ・雪に親しみ共生しようとする心情や、ふるさと札幌への思い
- ・北国の季節や自然を生かした暮らしを追究できる知識及び技能や思考力、判断力等

未来の札幌を見つめる【環境】

- ・自らふるさと札幌の美しい自然や環境を守り育てようとする態度
- ・環境の保全に配慮した望ましい働き掛けのできる技能や思考力、判断力等

生涯にわたる学びの基盤【読書】

- ・楽しみながら幅広く読書しようとする意欲
- ・ものの見方や考え方を広げ自己を向上させようとする態度
- ・内容を適切に読む力や情報を活用する力等

学習指導要領に示されている資質・能力から三つに整理

雪国札幌を考える【雪】



- ・雪に親しみ雪と共生しようとする態度
- ・雪国ふるさと札幌の将来について、見つめることのできる思考力・判断力・表現力
- ・北国の季節や自然、人々の暮らし等に対する基本的な知識・技能

未来の札幌を考える【環境】



- ・ふるさと札幌の美しい自然や環境を、自ら守り育てようとする態度
- ・環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる思考力・判断力・表現力
- ・人々の生活や活動と環境の関わりについての知識・技能

学びの基盤となる【読書】



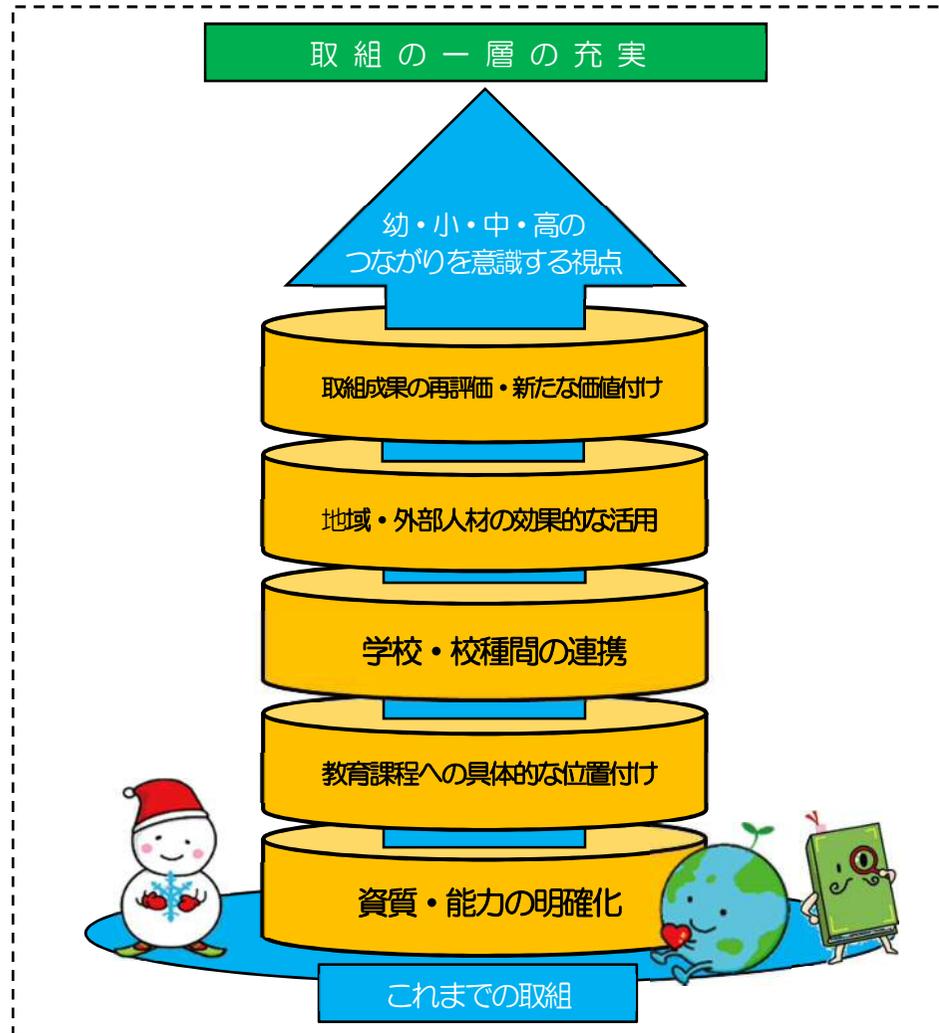
- ・楽しみながら幅広く読書をすることで自己を向上させようとする態度
- ・ものの見方・考え方を広げ、情報を活用することのできる思考力・判断力・表現力
- ・目的に応じて情報を整理したり、内容を適切に読んだりすることのできる知識・技能

各テーマの学習を通して育成した力等を活用して自己表現できる力

取組の一層の充実 ① 幼・小・中・高のつながりを意識する視点

1 どうする？  
構造的アプローチ

〇〇園・〇〇学校らしい特色ある学校教育の一側面の創造へ



1 幼・小・中・高のつながりを意識する視点

この10年間で各校が工夫した取組を行っており、例えば、現在の中学3年生であれば、幼児期を含めると【雪】【環境】【読書】に関する8年以上の学びが積み重なっている。【雪】【環境】【読書】に関して、幼稚園から高等学校までを貫く、共通した視点で、子どもの学び、育ちを捉えることにより、学習の連続性や系統性を踏まえた、より効果的な教育活動を展開することができる。

また、近隣の学校において類似した活動が行われている場合など、学習に関する情報や教育資源等の共有や連携によって、取組が充実するとともに、活動に関する準備の負担軽減や効率化を図ることができるなどの効果も期待できる。

2 視点の具体例

異校種間で情報共有や連携した取組を進めるには、視点を具体的にもつことで、学年段階や校種間の違いによる子どもの学びや育ちの側面から、活動内容等を整理し直すことにより、学習効果の最大化が期待できる。

- ・資質・能力の明確化
- ・教育課程への具体的な位置付け
- ・学校・校種間の連携
- ・地域・外部人材の効果的な活用
- ・取組成果の再評価・新たな価値付け

3 視点の活用例

- 取組を進めていくため、次のように年度ごとに重点テーマを設定する方法が考えられる。
- ・〇年度は、「地域・外部人材の効果的な活用」を重点テーマとして、【雪】【環境】【読書】の取組を実施する。
  - ・〇年度は、【読書】は「地域・外部人材の効果的な活用」を重点として取組を実施する。
  - ・〇年度は、【雪】に関しては「学校・校種間の連携」として「オリンピック・パラリンピック教育」をテーマとして進め、【環境】に関してはSDGsに詳しい「地域・外部人材の効果的な活用」を重点テーマとして進める。

4 「札幌らしい特色ある学校教育」の先に描くもの

「幼・小・中・高のつながりを意識する視点」をもつことで、【雪】【環境】【読書】を中核とした「札幌らしい特色ある学校教育」に係る取組の一層の充実が図られ、「〇〇園・〇〇学校らしい特色ある学校教育」の創造が図られることが期待される。

取組の一層の充実 ② 「発信」のススメ 【雪】【環境】【読書】の取組に関する具体的な推進方法 ～コラボレーションの可能性～

2 どうやって？  
方法的アプローチ

発信

- 学校からの発信 → 情報共有（他校、他校種、保護者など）
- 幼児、児童、生徒からの発信 → 自己表現できる力の育成、表現活動を通じた確かな力の育み

1 学校からの発信

- 他校への発信、他校種への発信、地域への発信、保護者への発信  
↓  
(ex HP、学校便り、発表会)

- 他校の取組について情報共有ができ、「幼・小・中・高のつながりを意識する視点」を生かしやすい。
- 保護者や地域の方に、学校の取組を理解してもらうことができ、協力が得やすい。

2 幼児、児童、生徒からの発信

- 学びの成果（自己の成長）の発信
- 育成する資質・能力を育む観点から

**現在** 【雪】【環境】【読書】で育てたい力  
：態度、知識・技能、思考力・判断力



**今後** 【雪】【環境】【読書】で育成した態度、思考力・判断力・表現力、知識・技能を自己表現できる力につなげる。  
生かして、「表現する力」を位置付ける。

3 「発信」とコラボレーション（つながり）の例

表現活動を通すことにより、一層確かな力の育成に。

(1) 【雪】【環境】【読書】のつながり

- 【読書】を土台とした【環境】もしくは【雪】の取組
- 【雪】【環境】【読書】の関連を図った取組
  - 【雪】や【環境】に関する調べ学習（【読書】の取組）成果の発信
  - 【雪】【環境】【読書】のそれぞれの取組成果を総合的に発信

(2) 校種を超えた子どもや教職員のつながり

- 異校種間での幼児・児童・生徒による発信による子どもや教職員のつながり

(3) 保護者や地域とのつながり

- 保護者や地域の方への【雪】【環境】【読書】の取組内容や成果の発信



クリエイション（創造）のススメ【雪】【環境】【読書】の取組に関する具体的な推進方法～新たなエッセンスの可能性～

3何を？  
内容的アプローチ

中核をなす三つの共通テーマ

雪国札幌を考える【雪】

札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な財産である「雪」を通して、ふるさと札幌への思いを強め、雪に親しみ、雪と共生しようとする心を培います。

未来の札幌を考える【環境】

「環境首都・札幌」宣言に基づき「さっぽろ地球環境憲章」を制定した札幌の市民として、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に伝え、地球と札幌のよりよい環境を創造しようとする心を培います。

学びの基盤となる【読書】

「読書」により言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするとともに、「知的好奇心」をふくらませ、一生にわたり学び続けようとする心を培います。

これまでの取組事例からのヒント

ex  
雪中の当て  
雪かきボランティア

ex  
多様な人との共生の視点からの取組

ex  
国語と社会科等の総合的な取組  
学校図書館の学習センターとしての活用

取組の広がり・深まりへのヒント

「体力向上」からのアプローチ 多様な人との関わりや文化的施設など「社会的環境」からのアプローチ  
「SDGs」の視点からのアプローチ 「オリンピック・パラリンピック教育」などからのアプローチ  
「教科等横断的」な視点からのアプローチ

- ・雪に親しみ雪と共生しようとする態度。
- ・雪国ふるさとさっぽろの将来について、見つめることのできる思考力・判断力・表現力
- ・北国の季節や自然、人々の暮らし等に対する基本的な知識・技能

- ・ふるさと札幌の美しい自然や環境を自ら守り育てようとする態度
- ・環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる思考力・判断力・表現力
- ・人々の生活や活動と環境の関わりについての知識・技能

- ・楽しみながら幅広く読書をすることで自己を向上させようとする態度
- ・ものの見方・考え方を広げ、情報を活用することのできる思考力・判断力・表現力
- ・目的に応じて情報を整理したり、内容を適切に読んだりすることのできる知識・技能

各テーマの学習を通して育成した力等を活用して自己表現できる力